

昨年度のご寄付のお礼と活動紹介

認定NPO法人(認定特定非営利活動法人)
アレルギー支援ネットワーク

2017年度の「寄付キャンペーン」におきまして総額1,244,700円のご寄付を頂きました。心よりお礼申し上げます。寄付金は患者会の活動支援に使用させて頂きました。また2018年は自然災害の多い年でしたので、7月の西日本豪雨では7月9日に日本小児アレルギー学会からの要請を受け、事務所に備蓄をしていたアレルギー対応の食料や肌着等を、広島県内に急遽開設された「アレルギー対応物資の拠点」(市民病院・社会福祉協議会・患者会)に緊急発送し、9月6日の北海道胆振東部地震では日本栄養士会の支援活動に協力して、9月7日に日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)にアレルギー対応の物資をお渡しするなど、災害支援にも使わせて頂きました。今年度もアレルギーっ子とその家族のために、ご寄付ならびに私どもの活動のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

ご寄付で実施できました2018年度の活動の一部を紹介させて頂きます。

【平成30年7月豪雨(西日本豪雨)】

【北海道胆振東部地震】



アレルギー支援ネットワークに届いた生の声はこちら



<http://alle-net.com/bousai/bousai02/bousai02-04/>



アレルギーっ子の災害対策支援

【アレルギーっ子のつどいクリスマスローズ】

小牧市市民活動助成金事業として「防災キャンプ」を3日間、のべ4回の講座を実施いたしました。1日目の9月23日(日)は、アレルギー支援ネットワークに食物アレルギーマイスターの松本洋美さん(防災士)を紹介して頂き、防災ワークショップを開催しました。小牧市の白地図を使ってのDIG(地図上訓練)では、自分の家と避難所を確認し、シールでマーキング。次に、川に色を塗り水害の恐れのあるエリアを話し合いました。地図上で確認することで、避難所まで向かうのは安易ではないことに気がきました。大きなゴミ袋を使っての雨合羽の工作もあり、親子で楽しく学べる講座となりました。(H.Hさん)



【松阪市アレルギーっ子の会】

12月2日に行われた防災啓発イベント「安全・安心フェスタまつさか」に参加しました。顔の見える関係の大切さが今年の災害体験からもよく言われています。当日はアレルギー支援ネットワークのサポートを受け、「緊急時おねがいカード」の配布や、アレルギー対応の非常食、災害時のアレルギーっ子への対応例などを展示しました。また松阪市からは備蓄用のアルファ化米の試食配布がありました。「このきのこご飯もアレルギー対応なの?」と初めて商品を見る参加者の声も聞きました。これから多くの方と交流できるイベントを通して、災害対策の必要性の啓発をしていきたいです。(K.Kさん)



夏休み親子企画

【小学生の子どもを持つ親の交流会 / アレルギー支援ネットワーク】

「南生協病院」小児科のご協力をいただき、夏休み中の8月22日「食物アレルギー、安全に選んで安心して食べよう!!」をテーマに楽しく勉強する機会を設けました。小学生対象でしたがその兄弟姉妹も含めて高校生まで8家族22人が参加し、食品表示の見方やコンビニでのお菓子の選び方など実際のお菓子を使ってお買い物ごっこをしたり、レストランのバイキングを想定して、写真に撮ったメニューを選んだりしました。参加した保護者からは、普段一人で買い物をさせたことがなかったので不安そうな子どもの顔を見て、自立させる必要性を感じました。子どもからは、表示をちゃんと見るようになったという感想などが寄せられました。



【患者会の支援(医療連携)】

【岐阜アレルギー児の親の会 Yummy!】

昨年度、多くの方にご参加いただいたアレルギー専門医による患者家族勉強会 & 交流会。今年度も3回にわたり、長良医療センターで開催させていただいています。第2回目のテーマ『経口免疫療法の注意点と経口負荷試験の大切さ』は、アレルギーの子をもつ親にとって、やはりとても関心が深いテーマであり、皆さん熱心に学んでおられました。「自分の子どもに合った治療方針で親子で頑張っていきたい」と感想をいただき、医療と連携し、患者会を運営していけることのありがたさを感じました。また交流会では、アレルギー支援ネットワークのサポートを受け、皆さんの悩みや、入園入学のアドバイス、災害時に必要な事など、私たちお母さんに寄り添った助言をいただけて、とても支えになっています。(M.Iさん)



【患者会の支援(自治体連携)】

【西濃アレルギーの会 Hug】

岐阜県大垣市を中心とした西濃地区で、2017年に前任者から患者会を引き継ぎ「西濃アレルギーの会 Hug」と新たに名付けて活動しています。治療を頑張っている子供達や、懸命に子育てしている家族の気持ちを包み込み、安心してアレルギーと向き合えるようにという思いを込めて「Hug」と名付けました。子育て中の親子が集うキッズピアおおがき交流サロン内で毎月第2火曜日におしゃべり会を開催しています。毎回10組ほどの親子の参加があり、「ひとりで頑張ってきたけれど、同じ悩みを持つママと話が出来て気持ちが楽になった」との声を頂きました。アレルギー支援ネットワークのサポートを受け、最新のアレルギー治療についての知識が深まり、災害備蓄についても参加者の意識を高めることが出来ました。これからアレルギー児が安心して暮らせる地域づくりを目指して活動していきたいです。(A.Hさん)



【患者会の支援(給食センター訪問)】

【半田アレルギーっ子の会 ~ poco a poco ~】

会が発足2年を迎えました。アレルギー支援ネットワークのお力添えもあり今年度は市の教育委員会へ要望書を提出する機会をいただき、『食物アレルギー対応委員会』の設置などについても前向きに検討するというお返事をいただけました。また、アレルギー支援ネットワークから費用等のサポートを受けることで、アレルギー大学へ通い最新の情報を得る機会にも恵まれました。今後も定例会を中心に、ひとりでも多くのアレルギーを持つ親子が正しい知識を得られる一助となるべく活動をしていきたいと思います。ありがとうございました。(H.Sさん)